

- 【題材名】 4学年理科「水の3つのすがた」
- 【内容】 カメラで実験の様子を撮影し、Jamboardで意見の共有を行った。
- 【使用アプリ】 カメラ、Jamboard
- 【事例紹介】 水を沸騰させたときの様子を、カメラ機能を用いて撮影した。また、沸騰している様子を観察して気付いたことを、Jamboardで共有した。



- 【解説】 水が沸騰する様子を撮影しておくことで、話し合いの際に具体的な水の様子を振り返りながら考えることができました。Jamboard を使っての話し合いでは、班ごとにフレームを作成し、それぞれの班で児童が気付いたこと付箋に書き込みました。友達の考えがリアルタイムで表示されていくので、参考にしながら考えることもでき、意見の集約も簡単に行うことができました。

(教育委員会主幹講評) ICT を記録と意見共有の道具としての活用事例です。この事例で動画を撮影したかどうかは、分かりませんが Chromebook のカメラ機能では動画の撮影中に停止ボタンの上にある白いボタンを押せば静止画撮影も可能です。沸騰の様子を動画で撮影し、沸騰したときの様子を静止画でも撮影。動画は Google ドライブの実験フォルダに保存すれば、あとから何度でも見直しができます。静止画をロイロノートに取り込み、手書きで「泡が出ていた」などの気づきを書き込めば観察記録を制作することもできます。その後、提出で提出し、お互いの気づきを共有することも可能です。また、カラー印刷してノートに貼って観察記録を蓄積していけば、何度も見直すことのできる立派な観察ノートの完成です。慣れてくれば実験の様子をスケッチする時間くらいでできるのではないのでしょうか。先生方のアイデアで、ICT を思考や記録の道具として有効に活用してください。